

日本マス・コミュニケーション学会

第37期第8回理事会・議事録

日時：2020年5月16日（土）15:00～17:00

場所：オンライン開催（Zoom）

出席予定者（24名）：理事＝赤木、井上、李、飯田、音、佐伯、佐幸、佐藤（友）、鈴木、高井、土屋、津田、丹羽、林、日高、福間、水越、水島、山田、吉見、渡辺。 監事＝小川、辻

欠席者（1名）：理事＝井川、河崎

事務局出席予定者（4名）＝稲葉、神谷、宇田川、近藤

■審議事項

① 第37期第7回理事会議事録（案）について（総務担当）

- ・ 議事録内容について承認された。

② 2019年度決算監査について（総務担当）

- ・ 総務担当理事より、現下の状況では対面では監査を行えないことから、オンラインで監査を行ったことが報告された。
- ・ その後、資料にもとづいて監事より監査内容について説明がなされた。学会の会計状況に関して、学会が危機的な会計状況にあることを踏まえて、事業費・管理費・収入のあり方について改善・見直しを行うことが必要であると提言がなされた。

③ 2020年度予算について（総務担当）

- ・ 総務担当理事および事務局より、2020年度予算案について、前回報告時からの変更点を中心に説明がなされた。
- ・ その後、予算案について承認された。

④ 総会の進め方について（総務担当）

- ・ 総務担当理事より、オンライン総会の手続きやスケジュールに関する報告がなされ、承認された。

⑤ 総会資料について（総務担当）

- ・ 各担当理事より、総会資料について説明がなされた。一部修正・追記を前提に承認された。

⑥ 総会決議に関する規約改正について（総務担当）

- ・ 今後、総会を対面で行うことができないような事態が起こりうることを想定して、次回の総会において、非常事態下ではオンラインで総会を開くことを可能にするように規約の改正を行うことが執行部より提案された。
- ・ それに対して、オンライン総会を開催することを可能にする場合、具体的な手順についても想定していくことが必要になることが指摘された。
- ・ 対面での総会とは異なる運営方式になることを前提にすることが確認された上で、規約変更の提案について承認された。

⑦ 優秀論文賞表彰について（総務担当）

- ・ 総務担当理事より、受賞者およびその選定プロセスについて報告がなされた。秋季大会においてセレモニーを行うことが承認された。

⑧ 2020 年度春季オンライン研究発表会の進め方について（総務担当）

- ・ 総務担当理事および事務局より、オンライン研究発表会の進め方について報告がなされた。
- ・ 今回の研究発表会は試験的な意味合いが強いため参加費を徴収しないこと、学会員に参加者を限定すること、などが確認された。
- ・ 企画委員会担当理事よりポスターセッションの報告形式（報告時間・回数）について提案がなされ、承認された。
- ・ また、学会名称に関する懇談会は、記録のために録画することが提案され、承認された。合わせて、その他のポスター、個人報告については録画しないことが確認された。

⑨ 学会ウェブサイトについて（広報委員会）

- ・ 広報担当理事より、学会ウェブサイトの構築作業について報告がなされた。
- ・ ウェブサイトが公開されてからは、各委員会のもとに広報担当幹事を置き、情報発信にかんする運用を行っていくことが確認された。

⑩ 2020 年度秋季大会について（企画委員会）

- ・ 総務担当理事より、秋季大会の担当者として成蹊大学の伊藤昌亮会員が企画委員として加わるこ
とが報告された。
- ・ 企画委員会担当理事より、春季大会に応募されたワークショップ 11 件がすべて秋季大会に移行す
ることになったと報告され、承認された。
- ・ 企画委員会担当理事より秋季大会のシンポジウムに関する案が提示され、大枠について承認され
た。最終的な検討は次回理事会で行うこととなった。
- ・ 企画委員会担当理事より、秋季大会の募集文案が提示され、承認された。

⑪ 会員の入退会について（総務担当）

- ・ 会員に入退会について承認された。
- ・ 合わせて、新規入会希望者の利便性や、昨今のコロナウイルスの蔓延状況を踏まえ、今後は入会において紹介会員の押印を求めないように規約を変更していく必要があることが確認され、総会以降、議論を進展させていくことが承認された。

⑫ その他

次回理事会の日程案について提案され、承認された。

■今後の理事会日程

2020年 6月27日（土） 10:00-12:00

以上